

(※双六の進み順に記載。記号等をつた。)

大序 鶴ヶ岡 わかさノ介・エビ蔵、もろ直・團蔵、はん官・大五郎

「い」 思ひの合夢 かほよ・大吉、もろ直・だん蔵

「ろ」 勇める忠義 本蔵・助十郎、わかさ之介・エビ蔵

「は」 宝の早馬 ばん内・文五郎、本ぞう・助十郎

「に」 刀のほぐれ もとの井・エビぞう、もろ直・團蔵

「ほ」 人ぜうの殿中 介十郎、はん官・大五郎

「へ」 目見への片身 石堂、やくし寺、安兵へ・延三、はん官・大五郎

「と」 八まん社檀

「ち」 国への早打

「り」 初終の物語り 片市、だん蔵、大五郎、安兵へ・延三、大星・エビ蔵

「ぬ」 茶や場幕あけ

「る」 兄妹の忠義 てら岡・片市、おかる・其答

「を」 あはづの尺八 大星・エビ蔵、もろ直・團蔵、力弥・白蔵

「わ」 主君の念晴 延三、大星・エビ蔵、もろ直・團蔵、力弥・白蔵

絵本太功記 さつき・だん蔵、みさほ・八太郎、みつ秀・エビ蔵、久よし・延三、

十次郎・森之介、初きく・其答